

資格サポートコーナー ～資格対策講座のご案内～

大阪工業大学では、資格取得・進路支援を行う課外講座として、**2023年度開講予定講座 一覧**
学生のやる気を伸ばし、将来へのビジョンを明確にする
様々な講座を開講しています。

今年の4月で資格サポートコーナーは12年目を迎えます。2022年度は昨年度に引き続き、課外講座はeラーニングを中心に実施しましたが、動画視聴だけでなく、一部フォローアップを目的とする対面授業をブレンドした受講形態に変更した講座を追加し、年間およそ500名が課外講座を受講しました。受講生の半数以上を占めたのが、1年次・2年次であり、「自分は何をしたいのか」「どのような分野で、今後どのようにして活躍したいのか」という将来へのビジョンを見据えた大学生活を過ごしたいという積極的な資格取得への意識を大きく感じられた1年となりました。

大学生の4年間は学ぶことも多く、あっという間に経過してしまいます。3年次で就職活動が始まってから資格の取得を意識し始めるのではなく、しっかりと自分のキャリアプランを立て、それに向けた計画的な学習が事前にできるよう共に考え、それらを確実に証明する為の手段として、また学生一人ひとりのやる気を伸ばすきっかけとして、専門的な知識を活かせる幅広いラインナップをご用意し、それぞれの学生の意向に沿った資格の取得を薦めています。資格取得までの過程においてはもちろん、その後の更なるステップアップまで、専任のスタッフが全力で学生の皆さまをサポートいたします。また梅田・天王寺の学外スクールと連携し、受講可能なラインナップが拡充しております。詳しくは資格講座2023ガイドをご確認ください。学外スクール「資格とキャリアのスクールnoa」にて大阪工業大学在学学生価格で受講いただけます。今後のご子息・ご息女の方の更なるご活躍のため、資格に向けての取り組みにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一部の資格対策講座は、**本学の卒業生ならびに
在学生・卒業生のご家族も在学料で受講いただけます。**
皆さまの更なるスキル向上、自己啓発の機会としても是非ご活用ください。

受講生の声 国家試験 基本情報技術者試験 合格!

■基本情報技術者試験講座 受講

大阪工業大学 情報科学部 情報メディア学科3年次(受講時1年次) **芳賀 友祐さん**

私がこの資格に挑戦した理由は、時間の余裕があったこと、基本情報技術者試験の資格に興味があったからです。講座の実施形式が対面ではなく、オンラインで受講できたため時間的な拘束があまりなく、自分の都合に合うタイミングに動画で学習できたので、受講を選んだ理由としては大きかったです。また、ライブ配信授業では過去問題の解説が聞けるだけでなく、先生に直接質問することができたため、学習を進めるうえでの優先順位を教えてもらい、効率的に学習を進めることができました。

現在、資格取得のために学んだ内容と大学の授業内容が重なっており、スムーズに理解することができているので、勉強してよかったと思っています。

お問い合わせ先 資格サポートコーナー 06-6967-9811(大宮直通)
大宮キャンパス:7号館3階(移転予定) 梅田キャンパス:6階 枚方キャンパス:1号館1階

2023年度 教育センターのご案内 教育センターでは、学びに関する悩みの解決をサポートしています。

大学教育は、高等学校までに定められた知識や能力を身に付けていることを前提に、学生の自主性、自立した学習を基本として進めます。

しかし、大学入学直後は、これまでの受動的な教育・学習から能動的な学修への切り替わりに戸惑う学生や、「高校で物理を学習する機会がなかった」「数学に苦手分野がある」「数学・物理の基礎をしっかりと勉強しておきたい」などの悩みを抱える学生が多くいます。

そのような学生のために、教育センターでは、個別の学習相談の実施や、数学・物理科目の知識の定着をはかる基礎力向上講座を開講し、専属教員や先輩学生が学生の学びを徹底的にサポートしています。

気軽に相談できる環境を整えていますので、授業で困ったことや不安なことがあれば教育センターを訪ねてください。

■教育センターについて ※大宮:大宮キャンパス、梅田:梅田キャンパス、枚方:枚方キャンパス

開室曜日	(大宮)月～金曜日 (梅田)月～金曜日 (枚方)月・火・木・金曜日 ※曜日・時期によって開室時間が異なります。教務課掲示板、教育センター内の掲示、HP、ポータルサイトで確認してください。
場所	(大宮)大宮7号館3階 (梅田)梅田6階(ラーニング・コモンズ内) (枚方)枚方1号館4階(ラーニング・コモンズ内)
教育センター所属教員	(大宮)数学担当:堂之本 篤弘、中田 裕省/物理担当:吉田 福蔵、岡村 多加志、平野 裕一、檀上 慎二、筒井 和幸、大塚 信之 (梅田)数学・物理担当:尾形 健一、物理・電気基礎担当:吉田 福蔵 (枚方)数学担当:岩崎 判二/物理担当:安達 照
実施概要	①個別学習相談 あらかじめ設定された時間を利用して、個別に数学・物理・英語系授業科目の課題や個別の質問などの個人指導・学習相談を行っています。学生個々の習熟度に合わせた指導を受けることができます。グループでの相談にも応じます。 ②基礎力向上講座 数学・物理系の正課授業科目と連携し、高等学校の復習から授業の内容に沿った演習などを盛り込み、知識を定着させる講座です。 ③応用力向上講座 将来、大学院への進学を目指している学生、すでに大学院進学が決まっている学生を対象とした数学・物理の応用力を養う講座です。 ④夏期集中パワーアップ講座 夏期休業期間を利用して、数学・物理科目の高等学校の復習から後期授業の予習までを盛り込んだ基礎学力を強化する講座です。 ※キャンパスごとに講座名・内容が異なりますので、詳細はポータルサイトを通じてお知らせします。
申込方法	①個別学習相談 直接センターにお越しください。 ※担当教員の待機表、基礎力向上講座の時間割は教務課掲示板、教育センター内の掲示またはHPにて確認してください。 ※枚方の教育センターでは、1号館1階エントランスでも個別学習相談に応じています。 ②基礎力向上講座 ③応用力向上講座 直接指定の教室へ行ってください。申込みの必要はありません。 ④夏期集中パワーアップ講座 所定のWebフォームから申込を受け付けます。 詳細については6～7月頃に、ポータルサイト等を通じてお知らせします。



お問い合わせ先 【大宮】教務課:06-6954-4083 【梅田】ロボティクス&デザイン工学部事務局:06-6147-6830 【枚方】情報科学部事務局:072-866-5301

講座名		2022年度実施時期
Microsoft Office Specialist講座	Word 365&2019/Excel® 365&2019	前期、夏期、後期、春期
	Word・Excel® 365&2019W受験コース	通年(年度内に2講座必須受験)
	PowerPoint® 365&2019	夏期、春期
	Word 365&2019 Expert/Excel® 365&2019 Expert	
宅地建物取引士 試験 対策講座		前期
2次元CAD利用技術者 試験講座 2級*1		前期、夏期、春期
ITパスポート試験講座		前期、後期
基本情報技術者試験講座		
ビジネス講座 秘書検定 2級		前期、夏期、後期
簿記検定 講座 3級		
色彩検定® 2・3級 併願講座		夏期
色彩検定® 2級/3級/UC級 単願講座		前期、夏期
G(ジェネラリスト)検定講座		前期、夏期、後期
ビジネス統計 スペシャリスト講座		
CGエンジニア検定(ベーシック)*1		
一級建築士 基本入門講座		前期
二級建築士 準備講座		
TOEIC® LISTENING AND READING TEST対策講座	はじめてのTOEIC®クラス(400点目標)	前期、夏期
	500点目標	後期、春期
	650点目標	
公務員試験 対策講座	市役所・警察・消防コース	
	技術職コース	随時申込可
	土木職コース	
	クラブ生対象 教養コース	
2年生対象 基礎力強化コース		前期、後期
危険物取扱者試験 講座(乙種4類)		夏期、春期
すぐわかる!データサイエンス講座*1		前期、夏期、後期、春期
ドローン検定(3級対策講座) ※大宮キャンパス		夏期、春期
ドローン検定(3級対策講座・基礎技能講習 併願) ※大宮キャンパス		
設計製図実習講座 ※梅田キャンパス		前期、後期

注1. *1については、ライブ配信型授業にて実施予定です。
注2. 開講講座・時期は都合により変更になることがあります。詳しくは「資格講座ガイド2023」、または資格サポートコーナー ホームページにてご確認ください。

OSAKA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

大阪工業大学後援会 会報誌



スーパーボールすくい出店の様子(城北祭)



表彰式(城北祭)

表彰式(茶屋町祭)

今年度も大宮キャンパスでは第74回城北祭が、梅田キャンパスでは第6回茶屋町祭が、枚方キャンパスでは第25回北山祭がそれぞれ開催されました。城北祭においては後援会でスーパーボールすくいを出店し、多くの方々楽しんでいただきました。売上金については、ウクライナ人道危機救援金としてその全額を寄付させていただきました。また、学生団体の各種展示内容について、後援会の役員・委員で審査を行い、優秀団体にはそれぞれ後援会会長賞を呈呈しました。

CONTENTS

- | | |
|---|---|
| 2 後援会会長挨拶 外園 隆志 「未来を担う若者達の門出を祝して」学生対象の「安否確認システム」について | 11 2022年度主な就職先(学部) |
| 3 学長挨拶 井上 晋 「ご子息・ご息女の門出を祝して」学位記授与式と入学宣誓式のご案内 | 12 学部ニュース(工学部・研究科) 大学院進学について |
| 4 2022年度教育懇談会に参加して | 13 学部ニュース(ロボティクス&デザイン工学部・研究科) 大学院進学について |
| 6 定期総会・教育懇談会 2022年度選任役員から | 14 学部ニュース(情報科学部・研究科) 大学院進学について |
| 7 就職活動本番突入! | 15 学部ニュース(知的財産学部・研究科) 時代が求める「知的財産人材の育成」 |
| 8 特集 大阪工業大学 正課インターンシップに参加しました。〜シュウカツのカギはインターンシップにあり!〜 | 16 キャンパストピックス 資格サポートコーナー～資格対策講座のご案内～・教育センターのご案内 |
| 10 2022年度主な就職先(大学院) 2022年度内定状況(大学院)(学部) | |

後援会会報

Vol. 71

2023MARCH

発行

大阪工業大学 後援会
〒535-8585 大阪市旭区大宮5-16-1
大阪工業大学 学長室庶務課内
☎ 06-6954-4097
✉ OIT.Koenkai@joshu.ac.jp

後援会ホームページ

<https://www.oit.ac.jp/japanese/kouen/>
大阪工業大学後援会の携帯専用サイトは閉鎖し、上記のサイトに統一されました。一部のフィードバック(ガラケー・ケータイ等)からは閲覧できない可能性がございます。





大阪工業大学後援会 会長
外園 隆志

未来を担う若者達の門出を祝して

卒業生・修了生の保護者の皆さま、ご子息・ご息女のご卒業・ご修了、誠にありがとうございます。後援会一同、心よりお慶び申し上げます。また、入学以来、後援会活動へのご支援・ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

ご子息・ご息女が学位記を手にした姿をご覧になられますと、大阪工業大学に入学されてから今日までの色々な場面を思い返され、感慨もひとしおではないかと拝察いたします。私も保護者の一人として、万感さまる思いがいたします。

そして卒業生・修了生の皆さま、晴れのご卒業・ご修了おめでとうございます。この3年間は、新型コロナウイルス感染症の為に授業や研究、就職活動で苦勞を強いられた事と思います。その様な状況を乗り越えられて、この晴れの日を迎えられた事はひとえにご本人の努力の賜物であります。心から敬意を表しお祝いを申し上げます。

卒業される皆さまはこれから社会に旅立ちます。その道は決して平坦ではなく時には様々な問題と直面し、大学で学んだ知識がそのまま活かせるとは限らないと思います。その時にこそ、この大阪工業大学の建学の精神である「世のため、人のため、地域のため、理論に裏付けられた実践的技術をもち、現場で活躍できる専門職業人を育成する」を思い出し、その環境で学んだ専門知識と行動力を誇りとして、自信を

持って進んでほしいと思います。皆さまが現実には仕事無く、この学舎で学んだ“真の強さ”を発揮して、“元気があれば何でもできる”の精神で、どの様な状況も乗り越えていかれる事と信じております。

また多くの皆さまはこれからエンジニアとして社会貢献されると思いますが、自分一人では決して“良い製品”を作り出す事はできません。研究・開発・設計・品質管理・生産技術・カスタマーサポート等のエンジニアや知財・営業・購買・業務等の多くのメンバーが“ONE TEAM”となり、“皆の力が集結した一つの製品”がリリースされます。人は周りの人々に支えられ、共に協力し助け合う事で大きな成果物が生みだされるという事を実感すると思います。その時に、この学舎で共に学んだ仲間達や教指導いて頂いた先生方を思い出さずです。スポーツに例えるならば、個人として“最優秀選手”を目指す事も大事ですが、“チームとしての優勝”も目指してほしいと思います。“ONE TEAM”はエンジニア職以外の職業でも、また仕事以外でも重要な考え方だと思います。

最後になりましたが、今日までご指導・ご支援して頂きました諸先生方、手厚くサポートして頂きました職員の皆さま方にこの場をお借りして深く感謝申し上げますとともに心より御礼申し上げます。



大阪工業大学 学長
井上 晋

ご子息・ご息女の門出を祝して

卒業生・修了生の保護者の皆さま、ご子息・ご息女のご卒業・ご修了、誠にありがとうございます。3年前に始まった新型コロナウイルスによるパンデミックがまだ終息しない状況の中、様々な困難を乗り越えてこの晴れの日を迎えられ、学位記を手にしたご子息・ご息女の努力に対し、心から賞賛の言葉をお送りしたいと思います。また、それを支えていただきました保護者の皆さまに厚く御礼申し上げますとともに、心からお喜び申し上げます。

ここ数年は新型コロナウイルスの影響もあり、後援会で主催いただいています種々の行事も中止や規模の縮小を余儀なくされておりました。本年度は感染拡大に対して十分な対策をとったうえで、総会時の個別懇談会や、地方会場を含む秋の教育懇談会を通常通り実施できましたこと、大変喜ばしく思います。アンケート結果を拝見させていただきましたが、個別懇談が保護者の皆さまと教員・大学を結びつける極めて重要な行事であることを再確認した次第です。大学の近況やご子息・ご息女の学修状況等を皆さまに直接お会いしてお話できる重要な機会として、大学としてもその内容の充実に努めていく所存です。

学生諸君も制約条件がある中で、勉学・研究や就職活動はもちろんのこと、プロジェクト活動や課外活動、学園祭など、様々な局面で大きな成果を出してくれました。その過程で経験したことは今後の人生において大きな糧となるでしょう。また、諸活動を通じてできた知人・友人、先輩・後輩など、その繋がりを財産として今後も大切にしていきたいと思っております。ご子息・ご息女の成長の過程に関わることができましたこと、教職員一同、喜びと責任を感じています。本年度の卒業生・修了生諸君が、自信と誇りを持って社会で活躍されますことを祈念しております。

さて、ご存知のように、本学は2022年10月30日に学園創立100周年を迎えました。記念式典やシンポジウム、各種関係行事、募金等、様々な局面で後援会の皆さまにはご協力・ご支援をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。次の100年に向けて、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、地域に根差す関西唯一の理工系総合私立大学として、独自のポジションを確立していきたいと考えています。今後とも引き続きご協力・ご支援のほどお願い申し上げます。

学位記授与式と入学宣誓式のご案内

2022年度の学位記授与式が2023年3月22日(水)に、2023年度の入学宣誓式が2023年4月5日(水)に挙行されます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、学位記授与式は学部・研究科により3会場(大宮キャンパス、梅田キャンパスおよび枚方キャンパス)に分かれて実施。入学宣誓式についても、学部・研究科により2つの時間帯に分けて実施します。なお、両式典とも学生のみ参加とし、保護者の皆さまの参列はできませんのでご注意ください。また、式場の様子はインターネット配信により同時中継しますのでそちらよりご視聴ください。

～卒業記念品について～

卒業生・修了生には今後のご活躍を祈念して、学部生と大学院生それぞれに大学名を印字した筆記具が記念品として贈られます。

学生対象の「安否確認システム」について

「安否確認システム」とは、大規模な災害等が発生した際に、メール等を利用して学生の安否情報を迅速に収集し、大学や保護者の皆さまへ配信することができるシステムです。

2018年の大阪府北部地震・西日本豪雨、2019年の台風15号・19号など、大きな災害がありました。今後、南海トラフ巨大地震等の発生が予想される中で、保護者の皆さまがご子息・ご息女を安心して大学へ送り出すことができるよう、安否確認システムをご活用ください。

在学生を対象に、本システムを利用した応答訓練を年に数回実施しますので、ご子息・ご息女が積極的に参加するようお願いいたします。

(保護者の皆さまが、ご子息・ご息女からの家族間連絡メール【右表参照】を受信するためには、ご子息・ご息女が安否確認システムのサイトにアクセスし、保護者さまのメールアドレスを登録する必要があります。)

大阪工業大学 安否確認システム ANPIS について <概要>

① 安否確認メール
災害発生時に安否確認メールを自動で送信！
※連絡先(大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県・滋賀県・福井県)で震度5以上の地震が発生した場合、即座に安否確認メールを送信します。(災害情報も併せてお知らせします)この安否確認メールに返信することで、大学へ安否確認を行います。学号を登録しているご家族へ安否確認メールを送信します。

② 家族間連絡メール
ご家族のスマートフォンへ学生の安否確認メールを送信！
震度5以上の地震発生時に、学生のみならずご家族へ安否確認メールを一旦に送信します。
安否確認メールに返信すると、ご家族の方に安否確認メールが届きます。ご家族の方は4名まで登録できます。※ご自身で設定が必要です

③ 防災情報メール
災害発生時に、大宮・梅田・枚方各キャンパスのメールが届く！
災害発生時に、大宮・梅田・枚方各キャンパスのメールが届く！
大宮キャンパス: 工学部・工学研究科、知的財産学部・知的財産研究科
梅田キャンパス: 工学部空間デザイン学科・ロボット工学科を除く
枚方キャンパス: ロボティクス&デザイン工学部・ロボティクス&デザイン工学研究科、情報科学部・情報科学研究科、知的財産学部・知的財産研究科

学位記授与式

日時: 2023年3月22日(水) 10:00~11:00
場所: 【大宮キャンパス(総合体育館)】
工学部・工学研究科、知的財産学部・知的財産研究科
注: 工学部空間デザイン学科・ロボット工学科を除く
【梅田キャンパス(常翔ホール)】
ロボティクス&デザイン工学部・ロボティクス&デザイン工学研究科
注: 工学部空間デザイン学科・ロボット工学科を含む
【枚方キャンパス(1号館各教室)】
情報科学部・情報科学研究科
中継: 当日9:50~11:00(予定)大宮キャンパスの様子を中継いたします。
※保護者の皆さまの参列はできませんのでご注意ください。

入学宣誓式

日時: 2023年4月5日(水)
時間: 10:00~【工学部・工学研究科】
12:00~【ロボティクス&デザイン工学部・ロボティクス&デザイン工学研究科、情報科学部・情報科学研究科、知的財産学部・知的財産研究科】
場所: 総合体育館<大宮キャンパス>
中継: 当日、各開始時間10分前から1時間程度(予定)
※保護者の皆さまの参列はできませんのでご注意ください。

式典の中継映像がインターネットでご覧になれます!大阪工業大学のトップページ (<http://www.oit.ac.jp/>) 上にありますバナーからお入りください。



2022年度

教育懇談会に参加して

2022年度は10月から12月にかけて、大阪・福井・松山・岡山・福岡・津・徳島の7都市で教育懇談会を開催いたしました。

新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を行いながらの開催となりましたが、10月～11月の福井、松山、岡山、福岡、津、徳島会場および12月の大阪会場（大宮・梅田・枚方）の全会場合わせて389組571人の保護者の方にご参加いただき、盛況のうちに本年度の教育懇談会を終了することができました。

地方会場に参加された皆さまからのご感想をご紹介します。



学校代表(学長)挨拶(岡山会場)



会長挨拶(松山会場)



総括説明会(福井会場)



就職講演(徳島会場)



就職相談(松山会場)

福井会場 情報科学部 ネットワークデザイン学科 1年次
10/16(日) T様

初めて、教育懇談会に参加させていただき大変手厚く、学生へのサポートをしていただける事に驚いています。

一年生ということで就職という事より、日々の学業について詳しく教えてもらいました。単位の取得、成績表の見方、授業に対しての心構えなど教えてもらい、早速、本人にも連絡をしました。

大学では、待っているだけでは何も身につかない、自分から行動することで、将来に生かせる研究につながるという事も説明していただき、私達も保護者として応援していこうと思っています。

これからもよろしくお願いいたします。

松山会場 ロボティクス&デザイン工学部 システムデザイン工学学科 1年次
10/16(日) T様

当初ロボット工学部希望でしたが、オープンキャンパスの時にシステムデザイン工学部を見学して大変興味を持ちこの学科志望で入学しました。コロナ禍ということもあり行動制限が設けられるなか、学校生活が始まりました。親として学校生活や履修のことについて不安でしたが、本日開催していただいた懇談会で履修の状況や進め方について細かく教えていただき、成績についての説明もいただきました。離れて暮らす子供の状況は日々連絡を取り合っていますが、学校生活の状況について教えていただいたのはとてもよかったです。これから生活や履修について気を付けるべき点について子供と話をしておこうと思います。学校生活も始まったばかりですが、自分の目標に向かって歩んでほしいと思います。親としてしっかりバックアップしていきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

岡山会場 工学部 建築学科 2年次
11/6(日) T様

大阪工業大学には、3月の後期日程で合格を頂き、そこから短い期間で入学準備や引越しなど慌ただしく大学生活が始まった長男でした。大学2年生になりクラブ活動や勉強など大学生活にも慣れ、漸く落ち着いて感じていたところ今回の教育懇談会の案内が届き初めて参加させていただきました。

コロナ禍での親元を離れた大学生活や、専門分野での学習内容など親としても不安なことがかりでした。

今回の教育懇談会で、建築学科の先生と直接お話ができ、カリキュラムのことや成績表の見方などを説明頂いて理解することができました。また、大学の就職状況や上級生になるにあたっての心構えなども教えて頂きました。

子供は将来、一級建築士になる夢を持っており、親としても精一杯応援して行こうと思っています。これからもよろしくお願いいたします。



個別相談(岡山会場)

福岡会場 ロボティクス&デザイン工学部 空間デザイン学科 2年次
11/6(日) M様

今回初めて教育懇談会に参加させていただきました。娘はコロナ禍により地元を離れることを断念する同級生も多い中、大阪で建築・デザイン等に関する勉強がしたいということで大阪工業大学へ進学しました。本人は、「何とかやっている。」というものの保護者としては、大学での学習や生活をどのように送っているのか不安がありました。

しかし、今回教育懇談会という有意義な機会をいただき、学生生活の不安を解消することができました。「実践力ある人材の育成」という大きな目標を掲げてすすめる大学の取り組みや成績表の見方、就職についての説明、大学院への進学についてなど、詳しい説明があり、特に資格サポートや就活へのサポート等、大阪工業大学ならではの丁寧な取り組みもお聞きすることができ大変参考になり感謝しております。これからもご指導宜しく願い致します。



個別相談(福岡会場)

津会場 工学部 応用化学学科 3年次
11/27(日) A様

今回、子供の学校での様子や就職活動の話を知りたくて、初めて参加をさせて頂きました。三重県で開催されるという事で、参加しやすかったです。地方開催をして頂けて、よかったです。離れて暮らしているため、大学生活をどのように過ごしているかと不安でしたが、個別懇談で、どのような勉強をしているのかを詳しく教えて頂けて、安心しました。卒業後の進路についても、色々聞かせて頂けて、不安に思っていた事が解消されました。この学校に進学させて、よかったと思えました。今回、このような機会を頂けて本当によかったと思います。ありがとうございました。



個別相談(津会場)

徳島会場 工学部 機械工学部 2年次
11/27(日) N様

大阪工業大学の教育懇親会に参加して実に有意義でした。自分が入学した約40年前とは状況が大変変わりましたが実情を知ることおよび相談窓口の存在を知り安心しました。このような機会を設けている大学は多くないので、在学生の皆さんは幸せです。

以下は時代に合わない部分もあるでしょうが若い方への提言です。今の世の中は失敗を恐れて実行しない傾向がみられます。事故の誘発は困りますが、若い内はまだ失敗が許されます。昔から果敢に挑戦した結果の失敗は「男の向う傷は勲章(女性でも同じです)」と言われていました。多くの学部がありますが、工学系の励みは自分の作品(橋、建物など)が残り、家族、子供にも見てもらえるという貴重な機会があります。大学が高校以下と異なる最大のポイントは高校までは「発見されたこと」を教わる場、大学と大学院は「これまでに無かったことを創生、発見する場」です。日本の最大の強みは物創りです。若い皆さんの活躍を楽しみにしております。



個別相談(徳島会場)

2023年度

定期総会と教育懇談会のご案内

定期総会

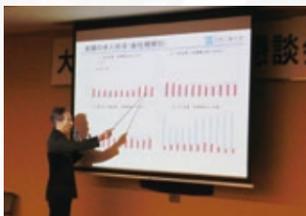
大阪工業大学後援会会則の第10条第2項に基づき、年に1回定期総会を6月に開催しています。定期総会当日は、総会議事のほかにご子息・ご息女の学校生活について教員と直接お話いただける個別相談の開催を予定しています。

ご子息・ご息女の学校での様子や修学状況、就活の最新情報など有意義な情報を得る機会となっております。

日 程	2023年6月3日(土)
場 所	本学(大宮キャンパス)
主な議題	2022年度事業報告、2023年度役員選任、2023年度事業計画、予算



定期総会



教育懇談会(大阪会場)における就職説明会

教育懇談会

2023年度は、大阪・津・京都・岡山・広島・鳥取・高松・松山・福岡の計9都市で開催を予定しています。大学の現状や就職活動の最新情報などを教職員が直接皆さまにご説明申し上げるとともに、ご子息・ご息女の学校での様子や修学状況について個別に懇談いただけます。

日程	開催場所	対象学部・研究科	その他
10月～11月にかけてのいずれかの土曜日もしくは日曜日	津・京都・岡山・広島・鳥取・高松・松山・福岡	全学部、全研究科	学部生／大学院生
12月2日(土)	大阪(本学) 【大宮・梅田・枚方】	【大宮】工学部・知的財産学部・工学研究科・知的財産研究科 ※工学部「ロボット工学科」を除く。	いずれか1会場を選択
		【梅田】ロボティクス&デザイン工学部・ロボティクス&デザイン工学研究科 ※工学部「ロボット工学科」を含む。	
		【枚方】情報科学部・情報科学研究科	

地方開催会場につきましては、諸事情により変更となる場合がございます。予め、ご了承くださいませようお願いいたします。

定期総会および教育懇談会ともに、会員の皆さまにとって有意義な情報を得る機会となっております。感染症対策に十分配慮したうえで開催できるよう準備しておりますので、是非ご参加ください。

2022年度 退任役員から

中川 誠 顧問

8年間の後援会活動を通じ子供たちの大学生活に触れ、私自身貴重な経験をさせていただきました。また、日頃より子供たちをご支援いただいている教職員の皆さま、卒業生の方々、地域の方々や後援会の皆さまへ心から感謝申し上げます。皆さまのご健康とご多幸を祈念いたします。

内美 栄子 顧問

娘が入学した時に後援会のことを知り、少しでもお役にたつことがあればと参加しました。色々な行事に参加させて頂くこととなり、戸惑いもありましたが父兄の立場でこんなに身近で学生たちと携わり、一緒に楽しむことができた事は大変思い出に残る貴重な経験をさせていただけたと感謝しています。またコロナ禍で入学式、卒業式や各種イベントが中止になってしまった学生の方々には本当に残念でしたが行動が制限され大変な中、みんな本心に頑張っていたと思います。娘も大学を卒業して早3年。私も今年で後援会を卒業です。これからも大学の益々のご発展をお祈りいたします。ありがとうございました。

山田 ゆかり 副会長

4年間ありがとうございました。活動を通して子どもたちの大学生活に触れた事は大変貴重な経験でした。コロナ禍で先が見えない状況ですが、これからも、後援会活動がより良いものでありますようお願いいたします。

大槻 六郎 監事

ご家族の皆さまから高評価であった教育懇談会において、ご協力いただいたアンケートに寄せられていた、リモートとのハイブリット開催が在任中に叶いませんでした。是非次年度以降の皆さまの力で早期に実現されることを希望致します。

奥田 幸子 監事

約3年の行動制限下で、リモートや100周年記念募金など変えられるところは変えられと同時に同じ学び舎での同じ合える想いは繋ぎ続けられたのではないのでしょうか。後援会というかたちで大阪工業大学に携われた事、幸せに思います。

小原 律子 常任委員

後援会の委員になり1年間活動させて頂き大学でも子供の学生生活を影ながら応援出来るんだと思ってましたが2年3年コロナ禍でほとんど何も出来なくなりお役にたつ事が出来なくて申し訳ありませんでした。4年になり少しずつ活動出来るようになったらもう卒業です。教職員の皆さまも4年間色々ありがとうございました。

藤下 生美子 常任委員

1本の電話から思いがけず参加させて頂く事となった後援会活動ですが、活動がなければ出会う事のなかった方々との交流、活動を通じ貴重な経験をさせて頂いた事に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

松木 弥生 常任委員

新しいご縁に巡り会えたらと思いついて後援会活動に参加させて頂きました。お陰でとても良い出会いがあり、楽しく過ごす事が出来ました。学生最後の時期に子供と関わる活動をさせて頂けて、お引き受けして本当に良かったと思います。4年間ありがとうございました。

竹藤 聡子 常任委員

学生・保護者の皆さま、この混沌とした時世でご苦労も多々あると思います。就職課や教授陣の手厚い助けが素晴らしい、後援会として一助ができたことは嬉しく思います。息子と一緒に第二の青春ができた有意義な活動でした。庶務課の皆さまにもお世話になりました。大阪工業大学の益々の発展を祈念致します。

前田 稔之 常任委員

大阪工業大学関係者の皆さま、後援会の皆さま、4年間ありがとうございました。新型コロナウイルスの流行で、2年間程しかともに参加出来ず不完全燃焼ですが少しでも、後援会のお手伝いが出来ましたら幸いです。今後の後援会役員の方々も楽しく・仲良く、更なる発展を願っております。

就職活動本番突入!

採用活動の早期化

2023年3月に大学・大学院を卒業(修了)される皆さんに対する大卒求人倍率は1.58倍と前年度に比べ0.08ポイント微増しました。2024年3月卒(修了)予定者においても同水準になると見込まれています。

最近の傾向として採用活動の早期化が顕著になってきました。政府指針によると広報活動開始が3月1日以降、採用選考活動開始が6月1日となっています。ところが1day仕事体験あるいはインターンシップに参加した学生へは早期選考の案内が届くケースが散見されます。この指針は拘束力がないため、遵守している企業は年々少なくなっています。就職部としても早期選考に対応するための支援行事を予定するなど、多様化する就職活動への対策を行っています。

本学は、一人ひとりの状況を常に把握しながらきめ細かいサポートをしていますが、「なんとしても社会人として自立する」という気持ちの部分はご家庭において醸成していただくことも重要です。保護者の皆さまと大学が一体となって学生を支えてまいりたいと思いますので、一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

就職部長 大屋 博文

2024年卒 就職活動スケジュール

2024年3月卒業生(以下「24卒」)を対象とした大手就職情報サイトからの合同企業説明会が3月1日から始まります。3年次中に多くの学生は説明会に参加し、就活ナビや各企業のホームページからプレエントリーしている状況で、すでに就活本番に突入しています。その後、企業独自の説明会などに参加するとともに、「エントリーシート」の提出により本エントリーを行います。企業はエントリーシートの審査や適性検査などの後、面接や筆記試験による選考を実施し、内々定を出すというのが一般的な就職(採用)活動スケジュールとなっています。

企業採用活動の早期化一層進む

しかしながら、ある就職情報サイトの2022年度における企業の採用活動調査によると、特に広報解禁直後の3月上旬までに独自説明会を実施した企業は84%(前年73%)で、前年を上回っています。また、3月中旬から4月中旬が面接開始のピークとなり、この時期に面接を開始した企業は半数に達し、2月以前でも20%を超えるなど早期化は顕著です。さらに6月の選考解禁を待たずに面接を開始した企業は93%(同91%)に及んでいます。したがって、81%(同79%)の企業が6月を待たずして内々定を出す状況となっています。24卒もコロナ禍の影響により、企業側も対面やオンラインによる企業説明会、面接などを実施し、学生もそれに対応しなければなりません。いずれにしても早期化の傾向については今後も継続されますので、早い段階からの準備が必要です。

就職部をフル活用

本学へ直接寄せられる求人は、学生一人当たり求人倍率30倍を超えており、工大生に対する採用への評価をいただいております。就職部には、各企業の採用スケジュールなどの選考情報のほか、就職情報サイトでは見つけにくく、「BtoB企業」といわれる一般にはあまり馴染みのない優良企業情報が多く蓄積されています。本学が「就職に強い」と評価されるのは、先輩たちが就職部からの情報をフル活用し、積極的かつ諦めずに就職活動をした結果といえます。

2025年卒での就活準備も重要

企業の採用活動の早期化により、3年次での就活準備もますます重要になります。4月から学内での就職ガイダンスから始まり、夏にはインターンシップでの就業体験、学内業界研究会で業界事情を知り、就職模擬テスト・模擬面接や先輩の体験報告会を聞き就活スキルを磨いていきます。2月までには自己理解・分析を終え、どんな業界でどんな職種に就こうとするか軸足を定めておくことが、早期化する企業の採用活動への対応策となります。そのためにも4月から始まる就職ガイダンスには必ず出席する、インターンシップにも積極的に参加し、就職部が行う各種支援行事には必ず参加することが重要となってきます。「会社説明会の解禁は3年次の3月からだから、そこから就職活動を考えればいい」の心構えでは、出遅れることになります。保護者の皆さまからもぜひご指導いただければ幸いです。

大学院進学も視野に入れた進路選択

進路の一つとして大学院進学があります。特に工学系学部生の大学院進学率は全国平均で約40%の状況となっています。大手企業への就職も有利になるほか、専門性の高い研究職などを目指す場合には、大学院修了の優位性が高くなる場合があります。奨学金制度も充実しています。ゼミの指導教員などとよく相談し、進路選択することが重要です。

特集 大阪工業大学 正課インターンシップに参加しました。～シュウカツのカギはインターンシップにあり!～

学部3年次、大学院1年次は、3月からいよいよ就職活動が本格化していきます。その就職活動をスムーズに進めていくためにも、就業体験や自分自身の振り返りの機会となるインターンシップへの参加が重要視されています。

そこで、今回、2022年度正課インターンシップ(以下「正課インター」)に参加した学生2名[工学部 機械工学科 王子谷 涼我さん(参加先:メーカー業)、工学部 都市デザイン工学科 三原 綾乃さん(参加先:建設業)]に正課インターの魅力をお話してもらいました。ぜひご子息・ご息女にも積極的に正課インターへの参加をお勧めください。

Q 正課インターに参加しようと思ったきっかけを教えてください。

王子谷さん:3年生になる前に、漠然と「インターンシップには参加しないといけない」と思っていたところで、正課インター説明会に参加しました。そこで、公募制インターンシップ*よりも、より深い体験ができると考え参加しました。

三原さん:就職活動に対して不安がありました。何から手を付けて良いかわからないときに、学部の先輩から「まずは、インターンシップに参加してみたら?」と教えてもらったことがきっかけで、正課インターに参加しました。公募制インターンシップ*はナビサイトからの情報がたくさんあり過ぎて、どのように選択していいかわからず、就職課のサポートのある正課インターを選びました。

*公募制インターンシップとは就職ナビサイトなどを通じたインターンシップのこと。



三原 綾乃さん

Q 事前学習について。

王子谷さん:正直、きつかったです。でも、授業を通じて、マナーはもちろんのこと、大学で学んだ知識をいかに仕事に生かすことができるのか、自分のどのような力が足りないのかなどインターンシップに参加する目的を明確にできたことがよかったです。

三原さん:授業内でマナーやインターンシップに参加する目標を言語化していくプロセスがあり、それにより具体的に表現することができたことはよかったです。私の目標は、①社会人として働く上で、自分に足りない事柄の発見と解決。②施工現場での技術力を学ぶ。③インターンシップで得た経験を分析し、自己成長につなげるの3点と定め、インターンシップに臨もうと考えました。



王子谷 涼我さん

Q 事前学習後、正課インター参加までの準備をされましたか?

王子谷さん:とにかく、インターンシップ先の方々に失礼がないように、礼儀、マナー、言葉遣いの資料を何度も見返したり、メモしたりしました。実際には、緊張してうまく使えなかったこともあり反省点もありました。また、事前学習で大事だと思った内容の振り返りをしました。中でも重要度の高い内容は実施前までに何度も確認しました。

三原さん:働くイメージを膨らませるために、インターンシップ先の企業のホームページから会社概要を確認し、なるべく先方に関する情報収集を行いました。事前学習で学んだマナーやインターンシップでの目標をいかに実践するかを考えていました。

“インターンシップ”が変わります。学生のキャリア形成支援活動(4類型)-特徴の比較-

	類型			
	タイプ1:オープンカンパニー	タイプ2:キャリア教育	タイプ3:汎用的能力・専門活用型インターンシップ	タイプ4(試行):高度専門型インターンシップ
①目的	個社や業界に関する情報提供・PR	働くことへの理解を深めるための教育	就業体験を通じて、学生にとっては自らの能力の見極め、企業にとっては学生の評価材料の取得	就業体験を通じて、学生にとっては実践力の向上、企業にとっては学生の評価材料の取得
②代表的ケース(主に想定されるもの)	企業・就職情報会社や大学キャリアセンターが主催するイベント・説明会	・大学等が主導する授業・産学協働プログラム(正課・正課外を問わない) ・企業がCSRとして実施するプログラム	企業単独、大学等が企業あるいは地域コンソーシアムと連携して実施する、適性・汎用的能力ないしは専門性を重視したプログラム	・ジョブ型研究インターンシップ(自然科学分野の博士課程学生を対象に文科省・経団連が共同で試行中) ・高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ(仮称)(産学協議会で検討中)
③就業体験	なし	任意	必須 ★(a)就業体験要件 学生の参加期間の半分を超える日数を職場での就業体験に充てる(テレワークが常態化している場合は、テレワークも「職場」) ★(b)指導要件 就業体験では、職場の社員が学生を指導し、インターンシップ終了後、学生に対しフィードバックを行う	必須
④参加期間(所要日数)	超短期(単日)	授業・プログラムによって異なる	★(c)実施期間要件 (i)汎用的能力活用型は短期(5日間以上) (ii)専門活用型は長期(2週間以上) 【本学の正課インターンシップは汎用的能力活用型につき、就業体験は3日間以上】	・ジョブ型研究インターンシップ:長期(2カ月以上) ・高度な専門性を重視した修士課程学生向けインターンシップ(仮称):検討中
⑤実施時期	時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮し、学士・修士・博士課程の全期間(年次不問)	学士・修士・博士課程の全期間(年次不問)。但し、企業主催の場合は、時間帯やオンラインの活用等、学業両立に配慮	★(d)実施時期要件 学業との両立の観点から、「学部3年・4年ないしは修士1年・2年の長期休暇期間(夏休み、冬休み、入試休み・春休み)但し、大学正課および博士課程は、上記に限定されない 【本学の正課インターンシップは学部3年/修士1年を対象】	-
⑥取得した学生情報の採用活動への活用	不可	不可	採用活動開始以降に限り、可	採用活動開始以降に限り、可

(e) 情報開示要件: ①プログラムの趣旨(目的) ②実施時期・期間、場所、募集人数、選抜方法、無給/有給等 ③就業体験の内容(受入れ職場に関する情報を含む) ④就業体験を行う際に必要な(求められる)能力
⑤インターンシップにおけるフィードバック ⑥採用活動開始以降に限り、インターンシップを通じて取得した学生情報を活用する旨(活用内容の記載は任意)
⑦当該年度のインターンシップ実施計画(時期・回数・規模等) ⑧インターンシップ実施に係る実績概要(過去2~3年度) ⑨採用選考活動等の実績概要*企業による公表のみ

Q 苦労した点・うまくいった点・ご自身の変化点

王子谷さん:(苦労した点)グループでお互い納得できる案を立案することに苦労しました。私のインターンシップ先では、グループワークを行いました。当初4名参加だったのですが、事情により2名での活動になりました。お互いが意見を出し合っていたので、尊重し合うまでに時間がかかってしまいました。先輩社員の方にも指導を仰ぎ、お互いに尊重し合いながら、グループワークを進めていきました。こうしたプロセスを経ることで、お互いに納得できる案を作成することができました。(うまくいった点)事前学習を通じて、積極性が大事だと学びましたので、インターンシップ先で質問を行ったことが、自分の中で手応えを感じました。質問も通勤時間内に考え、時間を有効的に活用しました。(変化点)インターンシップや就職活動に対する不安を払しょくでき、自信ができました。正課インターに参加する前は、企業は堅苦しく、重々しいイメージだったのですが、参加したインターンシップ先は、社員の方がフランクで優しくかったので、イメージが変わりました。また、5日間という長い期間だったので、様々な社員の方とお話できたのも、貴重な経験でした。この経験が、公募制インターンシップへの積極的な参加にもつながりました。

三原さん:(苦労した点)専門用語など、社員の方が普段使用している用語を理解することに苦労しました。大学の授業で学んでいない言葉も多くて、質問しても理解が追いつかないこともありました。最後までわからない用語などもありましたが、途中から、質問する表現を変えるなどして、理解に努めました。質問力が養われたと思います。(うまくいった点)自分からコミュニケーションを積極的にとれた点です。「いろんなことを吸収したい!」の姿勢を貫き、業務中での質問や、休憩時間に社員の方の業務内容を聞いて、仕事に対する理解が進んでいきました。

(変化点)何かを始めるときには、目標や目的意識を持って取り掛かるようになったことです。目標をもって、正課インターに参加したことで、その目標と、自分自身との乖離を感じることもあり、その感覚を意識することで変化がおきました。そのため、日頃の授業などでも目標を立て取り組み、成長を感じていきたいと思いました。

Q 正課インターを通して学んだ点とは。

王子谷さん:問題が起きた時の解決へのプロセスを学びました。問題が起きた際に、その問題が生じた「原因を追求し、解決策を創出する」という点を学びました。以前の自分だと、「直感的にここが悪いのだろう」と推測し、問題解決を行っていましたが、それは本当の問題解決ではありませんでした。原因を追求することで、再発防止につながり、本当の問題解決のプロセスを学びました。

三原さん:専門知識や創造性、問題解決能力が重要だと学びました。正課インターを通じて、3点の目標に対して、自分の足りていない部分が明確になったことで、それを克服するように日々意識するようになりました。具体的に足りていない部分は、専門知識や創造性、問題解決能力でした。そのため、授業や実習などでは自分から積極的に発言するなど力不足の点の解消に取り組んでいます。

Q 正課インター参加が、就職活動に活きた点は?

王子谷さん:積極性が生かされていると思います。就職活動に対しての不安が解消されたので、進んで公募制インターンシップにも参加できるようになりました。

三原さん:自分のやりたい仕事、目指す職種が正課インターに参加してわかりました。そのため現在の就職活動では、その仕事や職種に絞って対策に取り組むことができているところです。

Q 後輩たちに向けてメッセージをお願いします。

王子谷さん:これまであまり将来のことを考えずに過ごしてきました。正課インターに参加して、新しい発見もあり、充実した体験をしました。少しでもインターンシップに興味があれば、正課インターに参加することをお勧めします。責任感が芽生えます!

三原さん:就職活動に不安を感じ、就職活動を何から開始していいかわからない人ほど、参加してほしいと思います。事前準備等で学んだことがインターンシップ先で活用でき、それが自分自身の自信にもつながりますよ。



2023年度 正課インターンシップ「事前ガイダンス」のお知らせ

本学の正課インターンシップを履修するためには、以下の事前ガイダンスに参加または視聴し、出席(登録していただく)が必要です。

●**対象学年** 学部3年次、大学院1年次
(工学部、工学研究科、ロボティクス&デザイン工学部、ロボティクス&デザイン工学研究科、情報科学研究科、知的財産学部)

●**事前ガイダンス内容**
正課・公募制インターンシップの概要説明、正課インターンシップ申込方法、スケジュール、遵守事項についての説明

●**実施日時**
2023年3月23日(木) 10:00~11:00
オンラインで実施(ZOOMで実施予定、URLはポータルサイトで3月中旬にお知らせします)

上記期間に視聴できなかった人は、3月29日(水)までに必ず録画動画の視聴をしてください。

工学研究科

建築・都市デザイン工学専攻
都市デザイン工学コース

- (株)建設技術研究所
- (株)オリエンタルコンサルタンツ
- (株)エイト日本技術開発
- 八千代エンジニアリング(株)
- (株)バスコ
- (株)長大
- (株)IHインフラシステム
- 日本交通技術(株)
- 西日本高速道路(株)
- 大阪市役所

建築・都市デザイン工学専攻
建築学コース

- 鹿島建設(株)
- 大和ハウス工業(株)
- (株)フジタ
- (株)日本設計
- NTTファシリティーズグループ
- (株)大建設
- (株)日立建設
- (株)東畑建築事務所
- (株)安井建築設計事務所
- (株)プランテック総合計画事務所
- (株)能勢建築構造研究所
- (株)小大建築設計事務所
- (株)J.フロントビル
- 八千代エンジニアリング(株)
- 大阪市役所

電気電子・機械工学専攻
電気電子工学コース

- ソニー(株)
- 三菱電機(株)
- キヤノン(株)
- Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)
- SMC(株)
- SCREENグループ
- 富士電機(株)
- (株)オプテージ
- 東芝三菱電機産業システム(株)
- グローリー(株)
- 日新電機(株)
- 村田機械(株)
- (株)日立産業制御ソリューションズ
- 寺崎電気産業(株)
- フォスター電機(株)

電気電子・機械工学専攻
機械工学コース

- トヨタ自動車(株)
- 本田技研工業(株)
- 京セラ(株)
- シャープ(株)
- 三菱自動車工業(株)
- 楽天グループ(株)
- マツダ(株)
- 日産自動車(株)
- ヤンマーホールディングス(株)
- (株)SUBARU
- (株)ダイフク
- 日立グローバルライフソリューションズ(株)
- (株)ニコン
- ローム(株)
- 日機装(株)

化学・環境・生命工学専攻
応用化学コース

- 東京応化工業(株)
- ニチパン(株)
- エスケー化研(株)
- イビデン(株)
- 三協立山(株)
- 三菱自動車工業(株)
- ロックベイント(株)
- カーリットホールディングス(株)
- 積水化成工業(株)
- ユシロ化学工業(株)
- サンコール(株)

化学・環境・生命工学専攻
環境工学コース

- (株)石垣
- 大阪広域水道企業団

化学・環境・生命工学専攻
生命工学コース

- 日清丸紅(株)
- 朝日インテック(株)
- (株)河野製作所
- 佐竹マルテックス(株)
- (株)エイ・グリエイション
- 神戸天然物化学(株)
- (株)武蔵野
- 長生堂製薬(株)
- (株)アリミノ
- 富士ソフト(株)
- 合同酒精(株)
- 中野冷機(株)

ロボティクス&デザイン工学研究科

ロボティクス&デザイン工学専攻
ロボティクスコース

- 三菱電機(株)
- (株)本田技術研究所
- 京セラ(株)
- 大和ハウス工業(株)
- シャープ(株)
- (株)ダイヘン
- ヤマハ発動機(株)
- 日本電産(株)
- (株)島精機製作所
- 村田機械(株)
- 日立造船(株)
- SMC(株)
- タイガー魔法瓶(株)
- 三菱電機ソフトウェア(株)

ロボティクス&デザイン工学専攻
プロダクトデザイン・建築デザインコース

- 大成建設(株)
- (株)大林組
- 高松建設(株)
- (株)久米設計
- 積水ハウス(株)
- (株)イリア
- (株)ドラフト
- 伊藤立平建築設計事務所
- (株)赤ちゃん本舗

ロボティクス&デザイン工学専攻
システムデザインコース

- 積水ハウス(株)
- NECソリューションイノベータ(株)
- ヤンマーホールディングス(株)
- (株)ゴールドウィン
- (株)マイナビ
- (株)ハイマックス
- (株)KYOSO
- オムロンソフトウェア(株)
- (株)アライズアナリティクス

情報科学研究科

情報科学専攻

- 三菱電機(株)
- シャープ(株)
- 富士電機(株)
- スズキ(株)
- (株)マイナビ
- エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)
- ヤフー(株)
- NTTコミュニケーションズ(株)
- (株)インテック
- キャノンITソリューションズ(株)
- (株)デンソーテン
- (株)トヨタシステムズ
- ダイワボウ情報システム(株)
- (株)NTTデータMSE
- ヌヴォンテクノロジージャパン(株)

知的財産研究科

知的財産専攻

- 花王(株)
- ヤンマーホールディングス(株)
- 井関農機(株)
- (株)ダイフク
- スタンレー電気(株)
- ローランドディー・ジー。(株)
- NTN(株)
- 東芝ライテック(株)
- 大和ハウス工業(株)
- 大建工業(株)
- 三協立山(株)
- 三和シャッター工業(株)
- 住友大阪セメント(株)
- ライト工業(株)

工学部

都市デザイン工学科

- 鹿島建設(株)
- 大成建設(株)
- 西日本旅客鉄道(株)
- 五洋建設(株)
- 国際航空(株)
- 丸菱油化工業(株)
- 利昌工業(株)
- 古林紙工(株)
- 福井県環境保全協業組合
- 多木化学(株)
- 全星薬品工業(株)
- 大阪シーリング印刷(株)
- 松村石油(株)
- サンコール(株)
- 東洋製薬化成(株)
- ジェイオーコスメティックス(株)
- 日邦産業(株)
- (株)ダイキアクシス
- モリ工業(株)

建築学

- (株)大林組
- 鹿島建設(株)
- 大成建設(株)
- 清水建設(株)
- 大和ハウス工業(株)
- 積水ハウス(株)
- 住友林業(株)
- 三井ホーム(株)
- 旭化成ホームズ(株)
- パナソニックホームズ(株)
- 大建工業(株)
- 三和シャッター工業(株)
- 住友大阪セメント(株)
- ライト工業(株)

電気電子システム工学科

- 三菱電機(株)
- ローム(株)
- (株)SUBARU
- 関西電力(株)
- 大林組(株)
- 大阪ガス(株)
- (株)関電工
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- TDK(株)
- 三菱重工機械システム(株)
- レンゴー(株)
- (株)メガチップス
- 住友電設(株)
- ニチコン(株)
- (株)三社電機製作所
- (株)長谷工コーポレーション
- 開電ファシリティーズ(株)
- (株)日本総合研究所
- 西日本高速道路エンジニアリング関西(株)
- 大阪府庁

機械工学科

- スズキ(株)
- トヨタ紡織(株)
- 近畿日本鉄道(株)
- (株)ジェイテクト
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- 象印マホービン(株)
- ユニ・チャーム(株)
- 極東開発工業(株)
- 西日本高速道路エンジニアリング関西(株)
- (株)ダイフク
- 開電プラント(株)
- 日工(株)
- クボタ機械設計(株)
- 山崎製パン(株)
- グンゼ(株)
- 日本電産マシントール(株)
- 山九(株)
- レンゴー(株)
- (株)日立建機ティエラ
- (株)京都製作所

応用化学科

- 山崎製パン(株)
- 三井化学(株)
- 日本コルマー(株)
- (株)島精機製作所
- 共立製薬(株)
- 三協立山(株)
- 丸菱油化工業(株)
- 利昌工業(株)
- 古林紙工(株)
- 福井県環境保全協業組合
- 多木化学(株)
- 全星薬品工業(株)
- 大阪シーリング印刷(株)
- 松村石油(株)
- サンコール(株)
- 東洋製薬化成(株)
- ジェイオーコスメティックス(株)
- 日邦産業(株)
- (株)ダイキアクシス
- モリ工業(株)

電子情報システム工学科/電子情報通信工学科

- 関西電力(株)
- 大阪ガス(株)
- レンゴー(株)
- (株)きんでん
- ニチコン(株)
- ホシデン(株)
- フジテック(株)
- (株)NTTファシリティーズ
- 日本コムシス(株)
- 日本電設工業(株)
- アイコム(株)
- エクシオグループ(株)
- (株)デンソーテン
- (株)一条工務店
- (株)ドコモCS関西
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- (株)ミライト・ワン
- 住友電設(株)
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- (株)ミライト・ワン・システムズ
- 大阪市役所

環境工学科

- 月島機械(株)
- (株)竹中工務店
- (株)西原環境
- wing(株)
- 日立造船(株)
- 大阪市役所
- (株)東京設計事務所
- 日本水工設計(株)
- クボタ環境エンジニアリング(株)
- パナソニック環境エンジニアリング(株)
- (株)クリタス
- 月島テクノメンテサービス(株)
- 大阪広域水道企業団
- 新菱冷熱工業(株)
- ダイダン(株)
- 国土交通省 近畿地方整備局
- 厚生労働省 鳥取労働局
- 滋賀県庁
- オリジナル設計(株)
- (株)西原衛生工業所

生命工学科

- 大王製紙(株)
- 富士ソフト(株)
- 山崎製パン(株)
- 朝日インテック(株)
- NTTファイナンス(株)
- ハウス食品(株)
- ピース(株)
- エア・ウォーター・プラントエンジニアリング(株)
- 日本コルマー(株)
- 東京消防庁
- 須賀工業(株)
- エア・ウォーター・防災(株)
- 敷島製パン(株)
- (株)十川ゴム
- (株)インターネットアジアティブ
- (株)デンソーテン
- ヤマトシステム開発(株)
- ウエルシア薬局(株)
- フジフーズ(株)
- アドバンテック(株)
- 内外施設工業(株)

ロボティクス&デザイン工学部

ロボット工学科

- 三菱電機(株)
- (株)神戸製鋼所
- 三菱自動車工業(株)
- 楽天グループ(株)
- 日本電産(株)
- シャープ(株)
- 日立造船(株)
- (株)栗本鐵工所
- ニチコン(株)
- グンゼ(株)
- 村田機械(株)
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- 三菱スペース・ソフトウェア
- 日鉄デックスエンジニア(株)
- アイコム(株)
- (株)タカゾノ
- (株)ミットヨ
- (株)日立建機ティエラ
- (株)京都製作所
- (株)NTTデータアイ

システムデザイン工学科

- 三菱電機(株)
- 京セラ(株)
- (株)村田製作所
- 三菱自動車工業(株)
- 関西電力(株)
- (株)日立ソリューションズ
- ダイハツ工業(株)
- (株)JVCケンウッド
- パナソニックエナジー(株)
- (株)日本総合研究所
- NECネットエスアイ(株)
- (株)エヌ・ティ・ティ・データ関西
- デジタル・インフォメーションテクノロジ(株)
- (株)コナミアミューズメント
- T&D情報システム(株)
- (株)ミライト・ワン・システムズ
- 都築テクノサービス(株)
- (株)NTTデータSBC
- (株)NTTデータセキスイシステムズ

空間デザイン工学科

- (株)大林組
- 高松建設(株)
- NTTコミュニケーションズ(株)
- 積水ハウス(株)
- 住友林業(株)
- (株)乃村工藝社
- YKK AP(株)
- タカラスタンダード(株)
- アスクル(株)
- (株)DNPコミュニケーションデザイン
- (株)安藤・間
- 五洋建設(株)
- ダイダン(株)
- 鹿島クレスウエスト
- (株)スペース
- (株)ドラフト
- コイズミ照明(株)
- 東洋製薬グループホールディングス(株)
- ザ・バック(株)
- 大阪市高速電気軌道(株)
- 岸和田市役所

情報科学部

情報知能学科/コンピュータ科学科

- パナソニック(株)
- (株)日立システムズ
- (株)日立ソリューションズ
- 日鉄ソリューションズ(株)
- (株)マイナビ
- NECネットエスアイ(株)
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- (株)インターネットアジアティブ
- (株)デンソーテン
- ヤマトシステム開発(株)
- 京セラコミュニケーションシステム(株)
- (株)オプテージ
- 合同会社DMM.com
- (株)ジャステック
- 日本電子計算(株)
- 三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
- 楽天カード(株)
- (株)さくらケーシーエス
- (株)エヌ・ティ・ティ・データ関西
- (株)関電システムズ

情報システム学科

- 富士通(株)
- NECソリューションイノベータ(株)
- NECネットエスアイ(株)
- (株)NSD
- 三菱電機インフォメーションネットワーク(株)
- Sky(株)
- 京セラコミュニケーションシステム(株)
- (株)日立ソリューションズ・クリエイト
- TISソリューションリンク(株)
- (株)日立インダストリアルプロダクツ
- CTCテクノロジ(株)
- (株)NTTデータMSE
- (株)エヌ・ティ・ティ・データ関西
- (株)CIJ
- 富士電機ITソリューション(株)
- (株)マーベラス
- (株)関電システムズ
- クボタシステムズ(株)
- (株)リンクレア
- (株)NTTデータSBC

情報メディア学科

- (株)日立システムズ
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- (株)システナ
- (株)インターネットイニシアティブ
- SGシステム(株)
- (株)UACJ
- (株)DTS
- (株)日立社会情報サービス
- (株)インシダ
- 富士通フロンテック(株)
- (株)NTTデータMSE
- 明治安田システム・テクノロジ(株)
- (株)TBSアクト
- デジタル・インフォメーションテクノロジ(株)
- (株)コナミアミューズメント
- T&D情報システム(株)
- (株)ミライト・ワン・システムズ
- 都築テクノサービス(株)
- (株)NTTデータSBC
- (株)NTTデータセキスイシステムズ

ネットワークデザイン学科/情報ネットワーク学科

- 三菱電機(株)
- 関西電力(株)
- (株)NTTフィールドテクノ
- SCSK(株)
- NTTコミュニケーションズ(株)
- NECネットエスアイ(株)
- 三菱電機ソフトウェア(株)
- (株)インテック
- (株)ミライト・ワン
- 日本タタ・コンサルタンシー・サービス(株)
- (株)日立情報通信エンジニアリング
- (株)オプテージ
- ネットワークシステムズ(株)
- (株)日立社会情報サービス
- 日本電気通信システム(株)
- ナカパヤシ(株)
- (株)オービス総研
- 三菱電機インフォメーションシステムズ(株)
- (株)OKIソフトウェア
- (株)エヌ・ティ・ティ・データ関西

知的財産学部

知的財産学科

- (株)NTTドコモ
- (株)リクルート
- リンナイ(株)
- リコージャパン(株)
- 山崎製パン(株)
- 大和ハウス工業(株)
- 積水ハウス(株)
- (株)マイナビ
- NECネットエスアイ(株)
- 近畿日本鉄道(株)
- 北海道旅客鉄道(株) (JR北海道)
- 全農物流(株)
- 佐藤薬品工業(株)
- 大阪信用金庫
- (株)ノダ
- 京セラドキュメントソリューションズ(株)
- (株)スリーポンド
- BIG DAISHOWA(株)
- モリテックスチャール(株)
- 大阪府警察本部
- 兵庫県警察本部

2022年度 (2023年3月卒・修) 内定状況 (2023年2月1日現在)

■大学院(博士前期・後期・専門職)

研究科・専攻	課程	修了見込者数	就職希望者数	進学	就職内定者	就職内定率	
工学研究科	都市デザイン工学コース	博士前期	11	11	0	11	100.0
		博士後期	1	0	0	0	0.0
	建築学コース	博士前期	20	19	0	19	100.0
		博士後期	1	1	0	1	100.0
	電気電子工学コース ※電気電子工学専攻含む	博士前期	34	34	0	34	100.0
		博士後期	2	0	0	0	0.0
	機械工学コース	博士前期	30	30	0	30	100.0
		博士後期	2	0	0	0	0.0
	応用化学コース	博士前期	26	25	0	24	96.0
		博士後期	1	1	0	0	0.0
環境工学コース	博士前期	2	2	0	2	100.0	
	博士後期	0	-	-	-	-	
生命工学コース	博士前期	14	13	1	13	100.0	
	博士後期	1	1	0	1	100.0	
ロボティクス&デザイン工学研究科	ロボティクス&システムデザインコース	博士前期	28	27	0	25	92.6
		博士後期	1	1	0	1	100.0
	プロダクトデザイン・建築デザインコース	博士前期	15	14	0	13	92.9
		博士後期	0	-	-	-	-
情報科学研究科	情報科学専攻	博士前期	48	48	0	47	97.9
		博士後期	0	-	-	-	-
知的財産研究科	知的財産専攻	専門職	42	39	0	37	94.9
		計	279	266	1	258	97.0

■学部

学部・学科	卒業見込者数	就職希望者数	進学	就職内定者	就職内定率		
工学部	都市デザイン学科	98	83	15	83	100.0	
	建築学	145	114	25	113	99.1	
	電気電子システム工学科	124	102	21	101	99.0	
	機械工学科	129	80	43	74	92.5	
	応用化学科	120	84	31	78	92.9	
	電子情報通信工学科	11	11	0	10	90.9	
	電子情報システム工学科	79	64	14	62	96.9	
	環境工学科	79	66	12	66	100.0	
	生命工学科	57	36	20	36	100.0	
	空間デザイン学科	1	1	0	1	100.0	
ロボティクス&デザイン工学部	ロボット工学科	1	1	0	0	0.0	
	ロボット工学科	90	75	14	66	88.0	
情報科学部	システムデザイン工学科	98	82	14	76	92.7	
	空間デザイン学科	94	71	20	66	93.0	
	コンピュータ科学科	14	14	0	13	92.9	
	情報知能学科	77	64	12	63	98.4	
	情報システム学科	101	99	2	94	94.9	
	情報メディア学科	100	80	20	76	95.0	
	情報ネットワーク学科	13	13	0	12	92.3	
	ネットワークデザイン学科	91	81	10	79	97.5	
	知的財産学部	知的財産学科	126	117	8	103	88.0
	計	1,648	1,338	281	1,272	95.1	

※知的財産学科の卒業見込者数には、大阪工業大学大学院知的財産研究科への進学を目指す早期卒業予定者22名を含めていない。

工学部

Faculty of Engineering

大学院進学について

工学部長・工学研究科長 森實 俊充



我が国がそして世界が直面する複雑化高度化した社会問題の解決には専門的な技術だけでなく、分野融合的で領域横断的な知識と技術、国を超えた協働などが必要とされています。

大阪工業大学大学院工学研究科では、専門性が高くかつ分野横断的な教育研究が行えるように3専攻体制とし、学部4年間と大学院2年間、合計6年間の研究教育を通じた「総合的な能力の涵養」を目指しています。今年度は数件程度海外渡航による学会発表も行われました。海外の学生と学修を共にする国際PBLのICT利用によるオンライン化対応も進んでいます。アフターコロナを見据えた学生の海外論文発表に対する支援体制や、海外研究機関で行う研究目的の留学支援プログラムの整備など、グローバル化に対応できる人材育成を推進する体制強化に取り組んでいます。

加えて2022年度には、教育研究指導體制の強化のために大学院進学を前提としたコースを建築学科と機械工学科でスタートさせました。また2023年度は、新たに4学科でも同様のコースがスタートします。大学院進学によって身につけた能力は、必ずやご子息、ご息女の卒業後の進路選択の可能性を広げます。進路をお考えいただくときに大学院進学も選択肢の一つとして是非ご検討ください。

工学部紹介動画をYouTubeで公開しています！

工学部の強みや魅力をアピールするため、工学部紹介動画をYouTubeで公開しています。

キーワードは「超」。

<就職が「超」強い、ものづくりが「超」楽しい、支援が「超」手厚い>

本学は「就職に強い大学」というイメージはあるものの、なぜ就職に強いのか、その土台となる「教育力」「研究力」についてアピール不足であると気づきました。

そこで、教育・就職・資格・経済支援などに関する本学が提供している支援の紹介に加え、学生にキャンパスでの学修活動等のインタビューや撮影を行い、自身が本学で成長を実感したエピソードなどを交えながら説得力の高い動画になるよう力を入れました。

インタビューに協力してくれた学生は、学部生、大学院生、就職内定者、学生プロジェクト参加学生のほか、教員志望学生や教育センターの学修支援担当学生など、多様な学生が参加しています。

また、企業が求める力「社会人基礎力」に注目し、1年生と3年生で実施しているPROGテスト*のスコアから、その成長率をグラフを用いて分かりやすく掲載しています。

*PROGテスト:学河合塾と俣リアセックが共同開発したジェネリックスキルの成長を支援するアセスメントプログラム

動画は、1本あたり約120秒で、8学科全24名の学生が思い思いのエピソードを披露してくれます。

なお、YouTube以外にも各学科のInstagramやTwitterなどのSNSで授業や研究室の取り組みなどを発信していますので、是非ご覧ください。



工学部の強み



学生インタビュー



工学部紹介動画集

2023年夏に新5号館へ移転します。

2023年春に大宮キャンパスに新たな学びの場として新5号館が誕生します。地上7階建ての建物に図書館、教育センター、並びに、一般教育科(G科)、総合人間学系教室(H教室)が設置され、G科とH教室は2023年夏に7号館から新5号館へ移転します。新5号館では2階と3階に両部署の教員27名がそれぞれ研究室を構えます。研究室は白い壁面とグレーの床面で構成され、多くは淀川に面する予定です(写真)。両部署共通の事務室は2階に設置され学生対応等にあたる予定です。研究室以外にもH教室セミナー室など教員が共同で運営するスペースも設置されます。またG科とH教室は工大のリベラルアーツ系科目を担当するため、リベラルアーツ教育のための



新5号館イメージ

オープンスペースや動画作成スタジオなども設置され、学生と教員が交流できる空間も多く開設されます。G科とH教室では、これからも専門教育の基礎を身に付けるとともに文理の枠を超えた多面的な教育を展開していきます。

ロボティクス
&デザイン
工学部

Faculty of Robotics and Design

大学院進学について

ロボティクス&デザイン工学部長・ロボティクス&デザイン工学研究科長 井上 明



ロボティクス&デザイン工学研究科では、人を中心に考え、新たな製品やサービスを体系的に生み出すことができる人材の育成を目指し、デザイン思考をはじめとしたイノベーション教育を展開しています。

新型コロナウイルス感染症や紛争、経済活動など急激な社会変化の中、昨日まで当たり前だった事柄や正解が、明日には通用しなくなるような社会では、これまで以上に高度な知識の獲得や意思決定の方法を、幅広い視点から学ぶことが求められています。

本研究科ではこのような社会変化に対応できる高度な知識とスキルを獲得したエンジニアの育成のために、ロボティクス、システムデザイン、建築デザイン、プロダクトデザインの4コース体制での教育を推進しています。それぞれの専門分野を深く学ぶだけでなく、異なる分野の知識も学ぶことができる横断型のカリキュラムとなっています。また、梅田キャンパスという好立地を活かした企業連携や国内・国際学会での発表などの活動を通じて、学生達はより高いレベルの専門知識・技術を獲得しています。

理系学生卒業後の進路の一つとして大学院進学は身近なものとなっています。ロボティクス&デザイン工学部卒業後のご子息・ご息女の進路の一つとして、本研究科への大学院進学もご検討いただければと思います。

コロナ禍でも海外協定校とのグローバル交流が活発に

コロナ禍で対面での国際交流が思うようにできない日々が続いていましたが、ロボティクス&デザイン工学部は2022年度も海外協定校と活発に交流を行いました。

前期は「ものづくりデザイン思考実践演習I(3年次必修科目)」のグローバルプログラムとして、タマサート大学(タイ)、サバ大学(マレーシア)、雲林科技大学(台湾)とオンラインで国際PBL(Problem Based Learning)を実施しました。

後期には、複数の海外協定校からの交換留学生の受け入れが再開され、雲林科技大学(台湾)から6名、大同大学(台湾)から1名、サラマンカ大学(スペイン)から1名、シンガポール工科大学から2名を受け入れました。いずれも3~5カ月間の滞在期間中は各研究室に所属し、研究室メンバーと交流しながら指導教員の指導の下で思い思いの研究に取り組みました。

また、12月5日には雲林科技大学の副学長ら5人が梅田キャンパスを訪問し、次年度以降も引き続き活発な交流を行うための意見交換を行い、交換留学生の研究の様子も見学されました。

ロボティクス&デザイン工学部は、今後も引き続き海外協定校との活発な交流を行い、グローバルな視点を取り入れた教育環境を整えます。



雲林科技大学とのオンラインによる国際PBL

産学連携で大きく伸ばす学生の課題解決力

経済産業省は、DX化・脱炭素化など急激な技術革新の進展等による産業構造、雇用構造の大転換を見据え、未来を支える人材育成への指針を示しました。今後、決められた手順による仕事は、AIやロボットに置換わり、エンジニアにはクリエイティブな人材が切望される時代になります。

梅田キャンパス8階のロボティクス&デザインセンター(RDC)は、新しい時代を創造するイノベーション人材育成拠点であり、都心型キャンパスの特性を十二分に活かし、産学官連携、グローバル連携、地域連携、そして社会人連携を基軸とします。多くの企業との課題解決型PBL(Project Based Learning)の実施、デザイン思考ワークショップ、パートナー大学とのPBL、社会人向けのデザイン思考講座などを行い、創造力、課題解決力を有するエンジニアを育成しています。

特に重点的に行っているのがRDクラブです。これは学科横断、学部横断で多様性を持つ学生チーム(主に1・2年次)が企業と協力して実社会課題に取り組み、課題解決策をプロトタイプにより検証し企業に提案するデザイン思考PBLで、毎年100名程度の学生と10社程度の企業が半年間の活動を行います。参加経験者は良好な成績の者が多く、就職活動で企業等からの評価も良好です。



搬送ロボットとラックを統合した販売用カートの実験



RDC内で植物工場を用いたIoT実験

学部の近況はInstagramで紹介しています。



ロボティクス&デザイン工学部



ロボット工学科



システムデザイン工学科



空間デザイン学科

大学院進学について

情報科学部長・
情報科学研究科長 塚本 勝俊



近未来の社会の姿として描かれるサイバー空間と現実空間が融合したソサエティ5.0に向けて、AI、データサイエンス、情報システム、メディア、セキュリティといった情報技術が社会の隅々へ浸透しつつあります。これらを開発し、総合的に活用できる人材への要望は非常に大きく大学院教育の重要性はこれまで以上に高くなっています。学部と大学院を通じた6年間の一貫教育の魅力は、専門知識を活用し、新しい価値を創造する能力が養われることにあります。研究やプロジェクト活動を通じて論理的思考能力、学習し続ける能力、問題発見能力が大きく発展するわけです。

情報技術のあらゆる分野を網羅する情報科学部で基礎教育を受け、大学院情報科学研究科に進学した院生諸君は、オリジナリティあふれる実践的な修士の研究に従事し、その成果を国内学会や国際会議で発表しています。そこでは企業や行政との共同研究プロジェクトへの参画の機会もあり、また学部生とチームを組んで実際の現場の課題解決にAI/情報技術で取り組む産官学地域課題解決型プロジェクト(ソーシャル・オープンイノベーションチャレンジ)にも取り組んでいます。これらを通じてたくましい技術力、新しいアイデアを創造する力を磨いて社会に羽ばたいています。

大学院への進学によって情報分野の高度専門技術職へのご息女・ご息女の可能性が大きく広がります。ご息女・ご息女と卒業後の進路をご検討される時、是非、大学院への進学をお考えいただけますようお願いいたします。

タイ・タマサート大学シリントーン国際工学部(SIIT)と国際PBLプログラムを実施



集合写真

情報科学部はオンラインでタイ・タマサート大学シリントーン国際工学部(SIIT)と国際PBLプログラムを実施し、9月4日に最終発表会を開催しました。

今回も昨年同様、シミュレートされたロボットの制御と画像処理を統合したプログラムの作成に取り組みました。

オンライン交流プログラムの実施期間は、7/20~9/4までとし、コミュニケーションを深め、基本スキルを向上させることを目的とした事前学習も行いました。

また、プログラムの開始前(6/29~7/19)には情報科学部の参加者だけで英会話や要素技術に関する学習を実施し、予備知識を習得しました。7/20には両校の参加者全員がオンライン上に会してキックオフイベントを開催しました。その後、両校揃っての事前学習を8/26まで実施しました。

事前学習期間では、担当教員が用意したoViceやSlack、GitHubといったオンラインツールなどを駆使してプログラミング学習を進めると共に、文化交流課題として設定した両国のおすすめの食べ物をお互いに作って紹介する動画の作成に取り組みました。本学の学生側はカオチャオマムアンやパットガパオ、ガイヤーン、グリーンカレー、カオマンガイなど、SIIT学生側は牛丼やおにぎり、焼きそば、とんかつ、餃子、みそ汁、お好み焼きなどをそれぞれの国内で購入した材料を使って調理し、お互いの国の料理を紹介しました。紹介した料理はこれからお互いで作れるため、この交流は友好を深めるものとなったようでした。

本番期間(8/27~9/4)には、事前学習で深めた親睦と修得したスキルでテーマ課題に取り組み、その成果を元にポスターと動画を作成しました。初日には、SIITのディレクターであるDr. Pruettha Nanakorn 教授や本学の情報科学部長・塚本勝俊教授による挨拶を含めたオープニングセレモニーと最終日には、PBLの

成果のお披露目となるFinal Competitionと表彰式、講評を含めたクロージングセレモニーも行われました。

Final Competitionは2部形式で、第1部ではoVice上に配置したPBLの成果動画やポスターを自由に見て回るポスターセッション、第2部では各グループが自分たちの成果を発表する7分の口頭プレゼンテーションを行いました。ミニゲームでは事前学習で習得した認識技術を応用して、指の本数で回答するクイズや画面上で指定通りに指や顔を動かすゲーム、じゃんけんゲームなど技術とアイデアを凝らした楽しいゲームが数多く発表されました。また、自分たちでオリジナルのマップを作成したり、ユーザの指の向きでシミュレータ上のロボットを誘導したり、事前学習にはなかった内容に挑戦しているチームも散見され、非常に高いレベルの成果物にゲストの教員や学生を含めた参加者は大いに盛り上がりました。

なお、この活動は国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の2022年度国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)の支援を受けて実施しています。



OIT学生の発表の様子



教員講評の様子

時代が求める「知的財産人材の育成」

知的財産学部長・
知的財産研究科長 杉浦 淳



「知的財産」は、人間の知恵から生まれた無形の財産であり、特許、意匠、商標、著作権などが含まれます。発明など新しい技術的アイデア、製品デザイン、ブランド、ゲームや音楽、コンテンツなどが分かりやすいでしょう。

斬新な技術を社会で活かすためにはどうすれば良いか? 日本のアニメをどうすれば世界に普及できるのか? 素晴らしいファッションで成功を勝ち取るためには? 様々なクリエイターの創造をイノベーションに繋げる最も強力な「武器」である知的財産制度を駆使できる人材が求められています。

本学部では、知的財産を社会で活用するための基礎となる「法学」と「経営学」を徹底的に学び、次いで、学生の希望に応じてテクノロジーやデザイン、芸術作品などの知見を高め、多様な知的財産を社会で活かすことができる専門性に裏付けられた「実践力」を獲得します。

現代社会が求める人材の育成が評価され、毎年、法学分野での全国トップクラスの就職率実績を達成しており、最難関国家資格である弁理士試験の日本最年少合格者を数年来輩出しています。さらに学部の20%を超える学生が知的財産の専門性を更に高めるために大学院に進学して「修士号」を取得しています。

知的財産学部では、様々な学生の主体的活動と実践的教育を行っており学生が活躍しています!!

パテントコンテストにおいて、
優秀賞・特別賞「新しい生活様式アイデア賞」を受賞

令和4年度パテントコンテストの優秀賞・特別賞「新しい生活様式アイデア賞」を三宅ゼミが受賞しました。ゼミでは実際に知的財産がどのように生まれ、保護・活用されていくのかを体験するための一環として、パテントコンテストおよびデザインパテントコンテストに応募しています。身近な課題に着目し、その課題を解決する手段を考えていく中でアイデアやデザインといった知的財産が生まれます。このコンテストで優秀賞に選ばれますと実際に応募した知的財産を出願して権利化するまでの過程を体験することができます。今回、優秀賞・特別賞を受賞した学生は、これまで知的財産学部で学んだ知識を生かして、自らの知的財産が特許権として保護されるまでを体験できる貴重な機会を得ることができました。

知財ビジネスアイデア学生コンテスト
近畿経済産業局長賞を受賞

知的財産学部/大学院では、近畿経済産業局が主催する「知財ビジネスアイデア学生コンテスト」にチャレンジしています。本コンテストは、社会課題解決を目指す事業アイデアの企画を提案するものです。本コンテストを通じて、参加学生に知的財産の創造から保護・活用を図る課題解決型の機会を設け、実践的思考と能動的な取り組み態度を涵養することを目指しています。過去3年連続入賞を果たしており、令和4年度は「近畿経済産業局長賞」を受賞しました。



令和4年度 近畿経済産業局長賞
・CREAT ONE(パテント部門・大阪工業大学)

学生が書店を経営。日本経済新聞で紹介。あべのハルカスに出店。

当学部水野ゼミは、著作物としての本の利活用を研究テーマとして、「本を作って、売って、読者をつなぐ」実践的学習を行っています。その一環として、2022年7月、大阪市北区に書店を開業しました。学生が経営する書店は全国的にも珍しく、11月にはあべのハルカスに出店、12月には日本経済新聞で当ゼミの活動が紹介されました。月額2500円で誰でも自分のミニ書店を開店できるシェア型書店です。学生の意欲的な実践活動を応援いただけますようお願いいたします。

▶水野ゼミの本屋 大阪市北区西天満5丁目12-16 山口ビル 4階 401号室

<https://twitter.com/oitimizuno>

<https://note.com/oitimizuno>



水野ゼミの本屋

学部・大学院合同企業懇談会を開催

2022年12月12日、梅田キャンパスにおいて学部・大学院合同の企業懇談会を開催し、企業関係者55名を含め、学部・大学院生合わせて127人が参加しました。

これは毎年学生が中心になって運営する懇談会で、企業の知的財産部門をはじめ、採用担当の方々をお招きし、本学の教育の特色や学生の活動成果報告のPRの場として活用しています。前半の活動報告では学生が自身の活動内容を企業の方へ発表し、後半の情報交換会では企業ごとのブースを作り時間を決めて各ブースを移動し、限られた方法・時間の中で企業で働くことの意義や厳しさについて体感しました。



発表風景



懇談風景

早期進学制度について

成績優秀者は学部を3年で卒業し、大学院に進学できる制度があります。学部3年、大学院2年の計5年という短期間で修士号「知的財産修士(専門職)」を取得でき、高度な専門職として活躍する道が開けます。今年度は26人の学生がこの制度で進学しました。

また、大学院を修了し、一定の条件を満たせば弁理士試験の一部が免除されます。進路の選択肢の一つとして、知的財産専門職大学院への進学を検討されてはいかがでしょうか。